



# 西堀小だより

春休み号 令和7年3月26日発行  
 児童数 346名  
 新座市西堀2-18-3  
 TEL 042 (491) 6671  
 FAX 042 (495) 8848

【校訓】 禮儀(れいぎ) 質朴(しつぱく) 自治(じち)  
 【教育目標】 やさしく かしこく たくましく

## 『温かいご支援・ご協力をありがとうございました』

校長 鈴木 勝

春の訪れを感じる今日この頃、桜のつぼみもようやく膨らみ始め、暖かな日差しが私たちを包み込む季節となりました。皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。

この一年、西堀っ子たちは様々な活動を通じて大きく成長しました。学びの場である学校が、子供たちにとって安心できる場所であり続けられたのは、ひとえに保護者の皆様や地域の皆様の温かいご支援とご理解のおかげです。お忙しい中、学校行事や日々の活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

また、教職員一同、皆様のご支援に支えられながら、子供たちの成長を見守り、共に歩んでこれたことを嬉しく思っております。特に今年度は、創立145周年を迎え、運動会など新たな取り組みや行事が多くありましたが、皆様のご理解とご協力により、無事に実施することができました。

地域の皆様にも、日頃から学校を見守り、支えていただきましたことに心から感謝いたします。地域の皆様の温かい眼差しが子供たちにとって大きな励みとなり、西堀っ子の成長を後押ししていただきました。

来年度も子供たち一人一人が安心して学び、成長できる環境を整えて参ります。どうぞ引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年度も皆様と共に西堀っ子の未来を育んでいけることを心より楽しみにしております。



### 【6年生 50名 全員が出席した感動の第145回 卒業式】

3月24日(月)、新座市中央公民館長 工藤邦裕様をはじめ、多数のご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、新座市立西堀小学校第145回卒業証書授与式を無事に挙行することができました。50名の卒業生全員が、瞳を輝かせて卒業証書を受け取りました。体育館に参列された保護者の方々、教職員と児童の思いが一つになり、厳粛な中にも、心温まる時間が過ぎ去っていきました。子供たちの晴れやかな笑顔がとても印象的で素晴らしい卒業式でした。中学校での更なる活躍を大いに期待しています。在校生を代表して参列した5年生も練習の時から歌や態度で卒業生にエールを送ってくれました。当日も最高学年のバトンを受け継ぐにふさわしい態度でした。



卒業式では、私から贈る言葉として、次のような話をしました。(一部抜粋)

今日は、皆さんにとって特別な日です。これまでの努力を振り返り、未来への希望を抱く日です。皆さんの旅立ちに際し、私から一つ、特別なエピソードを紹介したいと思います。それは、日本の野球界を代表する偉大な選手、背番号51番、イチロー選手の物語です。イチロー選手は、日本を代表するプロ野球選手であり、メジャーリーグでも大変な成功を収めました。彼は今年一月にメジャーリーグ殿堂入りを果たし、その偉業は多くの人々に夢と希望を与え続けています。

イチロー選手は、幼少期から野球に情熱を注ぎ、自らの技術を磨き続けました。彼のキャリアは、常に挑戦と努力の連続でした。イチロー選手は、「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くだけ一つの道」という言葉を残しています。この言葉には、彼が日々の努力を重ねることの重要性を信じていたことが表れています。彼は、毎日の練習を怠らず、常に自分の限界を超えることを目指していました。成果につながると、イチロー選手は自らの行動によって証明しました。

よく、成功者は「天才」と言われがちですが、実はその裏で血がにじむような努力を続けています。イチロー選手が言った「努力せずに何かできるようになる人のことを『天才』』というのなら、僕はそじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを『天才』』というのなら、僕はそうだと思う。人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うのなら、それは間違いです。」この言葉は、成功の裏には多大な努力があることを教えてくれます。

皆さんも、小学校生活の中で少しずつ努力を重ねてきました。その積み重ねが、今日の卒業という成果を生んでいます。これからも、イチロー選手の言葉を心に留め、小さなことを大切にしながら、新たな挑戦に向かってください。

私たちは今、急速に変化する社会の中にいます。技術革新やグローバル化が進む中で、これからの時代を生き抜くためには、柔軟な思考と新たな挑戦を恐れない心が必要です。イチロー選手のように、自分の可能性を信じ、果敢に挑戦していくことで、皆さんもきっと素晴らしい未来を切り開いていけるはずですよ。



### 【在校生 296名の児童に修了証授与】

本日26日(水)で、令和6年度の授業日全202日が終了し、修了式を迎えることができました。子供たちは立派な態度で臨むことができていました。その後、各担任から296名の在校生に通知表「のびゆくすがた」とともに修了証が手渡されました。

ご家庭で「のびゆくすがた」をご覧になりましたら、お子さんの良いところ、頑張ったところを褒め、自慢話もたくさん聞いてあげてください。子供でも大人でも、褒められたり認められたりするという事は、嬉しいことです。

私たち教員は、「のびゆくすがた」に限らず、何事も「結果」だけでなく「その過程における努力」について褒めることを心がけています。子供たちの努力を認め、失敗を恐れず物事にチャレンジしていく姿勢を評価し続けていくことは大切なこととして捉え、引き続き指導して参ります。

